市民のひろば

まちの声

◆研修会のお知らせ

私たち「ハッピーチルドレン」は、高知県教育委員会からの「こども・子育て応援事業費補助金」を活用し、研修会を行います。

【日時】10月14日(日)
10時～
【場所】開発センター物部
【内容】元保育士の体験談、工作など
【対象】子育て中の親子、子どもが大好きな方（興味のある方は、ぜひご参加ください）
【問い合わせ先】ハッピーチルドレン（小松智恵）
☎58－4527（18時以降）

◆講演会のご案内（社会参加をめざして）

【日時】10月30日(火)
14時～17時
【場所】県立ふくし交流プラザ多目的ホール（高知市朝倉）
【講師】服巻智子 先生
（「それいゆ相談センター」「それいゆ自閉症支援専門家養成センター」センター長）
【演題】「社会参加を目指したコミュニケーション能力を高めるために」（仮称）
・実際のケースをまじえた実践例
・軽度の知的障害を持つ自閉症の特性の理解と支援
※希望者は、申し込みをお願いします。
【連絡先】高知大学教育学部附属特別支援学校
☎088－844－8450

まちの風景

◆この実は、何の実？

9月13日、奥物部ふれあいプラザの入り口に飾られているのを見て、思わず撮ってみました。

ツノナス（角茄子）という植物で、俗名ではフォックス・フェイス（狐の顔）とも言うようです。

私には、キリンや小鹿の顔のようにも見えましたが、皆さんには、何に見えるのでしょうか？

◀カラーでないので残念ですが、実の色は黄色です

神氏ちゃん その2

作・神明大地（山田高校マンガ部）

まちの声・まちの風景（写真・イラスト）募集

住所・氏名・年齢・電話番号（または連絡方法）を明記してご投稿ください。なお、誌面の都合で掲載できない場合があります。
・『まちの声』の字数は400字以内（最低字数制限はありません）。趣旨を変えない範囲で直すことがあります。
・『まちの風景』の大きさは、写真・イラストいずれもハガキ大以内。

【投稿先】
〒782－8501　香美市土佐山田町宝町1－2－1
香美市役所企画課内広報委員会事務局
FAX 53－5958　E-mail kikaku@city.kami.kochi.jp

香・美・人⑤

山本知佳さん（山田高校3年）

今年8月に行われた全国高校総体（インターハイ）女子三千㍍競歩で優勝した山本知佳さんを取材しました。

取材に訪れた九月七日の放課後、陸上部が練習をするグラウンドでは、女子陸上部の部員の皆さんが、自分たちが練習する走路を掃除していました。「こんにちは」と爽やかにあいさつしてくれる部員の中に、山本知佳さんがいました。

香我美中（香南市）出身の山本さんは、十人の部員と一緒に土佐山田町下ノ村で寮生活を送りながら、学業と厳しい練習に励んでいます。

駅伝を目指して山田高に入学した山本さんと競歩との出合いは、高校2年生の春でした。足が故障がちだったこともあり、「走ること以外で心肺や筋力のトレーニングになれば」と、顧問の永田先生に勧められたことがきっかけであって、競技として始めたものではありませんでした。

「走るのは才能が多くを占めるかもしれませんが、競歩はどれだけ我慢強いか、それが重要だと思います。そこが自分に向いていたのでしょうか」と語ってくれた山本さん自身が分析する「我慢強い」性格が、競歩の選手として頭角を現すことにつながり、今年のインターハイでの優勝に続き、第五十六回四国選手権（八月二十六日開催）でも女子五千㍍競歩で優勝しました。

取材の最後に今後の目標を聞くと、「五㌔、十㌔と長い距離をふんで、スタミナをつけていきたい」と話してくれました。具体的な大会などについては、明言されませんでしたが、自分の中にある目標に向かって、これからも努力を続けていかれることでしょう。

取材後、他の部員らと一緒に練習に励む山本さんは、一週三百㍍の走路を日が暮れるまで何週も歩き続けていました。厳しい練習が続くグラウンドを見つめる永田先生の「そうでなければ日本一にはなれませんから」という言葉に、ひたむきに努力する姿が一段と輝いて見えるようでした。

練習に打ち込む山本知佳さん（山田高校グラウンド）

ただいま留学中⑤

パロヴィー・シャジェダ・アハメド（バングラデシュ人民共和国）

土佐山田町に住んで、地域が抱える二つの問題に気がつきました。一つは「過疎」。もう一つは「英語が通じない！」

一つ目は難しいですが、二つ目は私にもできることがあります。そこでMr.松岡とMr.隆司（土佐山田町宮ノ口の方）の力を借りて「宮ノ口無料英語教室」を開くことになりました。六歳から七十三歳まで、月二回勉強しています。

楽しいし、ためになります。もちろん、私にとってです。由緒正しい日本の伝統を教えてもらえるし、東京の人が知らない奥深い日本人の心、よく工夫された暮らしについて学ぶことができます。県外の人に高知について聞かれたら「はちきん、土佐弁、愛嬌が金銀銅メダルです」と説明できます。土佐弁で言えば「食べや」の心です。

英語教室の話に戻りますが、まだ数回しか勉強してないおばあさん（?）に「英語で自己紹介してください」と言ったら、教えた通りに流ちょうな英語でしゃべり、最後に（これは教えてなかったんですが）なんと「アイラブユー」と締めくくりました。大爆笑！このレディのことを思い出すたび、心が熱くなります。

子どもはすぐ上手になります。子どもだけでなく「全員ができるようになる」ことが私の目標です。老若男女ウエルカムです。また、こんな教室がいろんな地区でできたらと思います。

私を支えてくれている香美市の皆さんに感謝しています。

パロヴィーさん